

タイトル :いつも元気で優しい！メダンの皆さん ～多様な文化・民族からなる スマトラ島最大の都市～

派遣先：北スマトラ メダン

氏名：渡邊 貴子

HORAS(ホラス)！北スマトラ・メダン市に派遣中の渡邊貴子です。

インドネシア・スマトラ島東北部にあり、スマトラ島最大の都市です。ジャワ人、バタック人、マレー人、アラブ系、インド系、中国系インドネシア人と多様な民族が混在しています。メダンの皆さんはいつも元気で！最初、私は大きな声とパワーにびっくりしました。とても親切で優しい人々が多く、いろいろな場所で多くの方との交流を楽しむことができました！

① 派遣先の生徒たちとの交流

私の派遣先は、スルタン・イスカンダール・ムダ専門高等学校とメダン UISU 高等学校です。両校とも生徒たちはいつも元気でパワーいっぱい！私はいつも生徒たちから元気をいっぱいもらいます。そして、生徒たちは写真を撮ることが大好き！みんなポーズもキマってます！



スルタン・イスカンダール・ムダ専門高等学校の生徒

② 派遣先の生徒たちとの交流

毎月1回、MGMP(メダン日本語教師会)が行われます。私たち日本語パートナーズのメンバーも招待を受け参加しています。先生たちは、情報交換や模擬授業を披露したり、アイデア豊富でバイタリティーのある先生ばかりです！CP先生以外にも、他校の先生との交流ができて参加することが楽しみです。



MGMP(メダン日本語教師会)に参加

③ 近所の皆さんとの交流

住まいの隣にある食堂に立ち寄ると初めての私に優しく声をかけてくれ、すぐに仲良くなりました。休日に一緒に寿司を作りました。近所の子も集まって、みんな「おいしい！」と言ってくれました。でも、わさびの辛さは苦手でした。



浴衣と法被を着て記念撮影



一緒に寿司作り

私はメダンが大好きです！残り少ない派遣期間ですが、日本文化を知ってもらえるように、さまざまな方と交流をもちたいと思っています。そして、インドネシアについて、日本の皆さんに伝えたいと思っています。



近所の方の結婚式

タイトル：文化紹介:「浴衣・ハッピー」体験 ～生徒たちの輝く笑顔に感動～

派遣先：北スマトラ メダン

氏名：渡邊 貴子

HORAS(ホラス)! 北スマトラ・メダン市に派遣中の渡邊貴子です。

私の派遣校のひとつ、スルタン・イスカンダール・ムダ専門高等学校は、ビジュアルコミュニケーションデザイン (DKV)、財務会計 (AKL)のコースがあります。私は、この学校で8クラス（男子生徒約100人、女子生徒約200人）を担当しています。生徒は意欲的で日本に関心のある生徒がとても多いです！

「浴衣体験」は、生徒たちからリクエストが多く、特に女子生徒から人気があります。しかし、通常着付けは1人に7分程かかります。私とCP先生（日本語の先生）だけでは90分の授業時間内に生徒全員に着付けをすることは無理がありました。しかし私とCPは、「クラス全員で楽しく浴衣体験」を実現しようと、何度も話し合い、工夫をしました。

①「浴衣体験」の事前準備

CP先生と話し合い、男子はハッピー、女子は浴衣を体験することにしました。浴衣の着付けで特に時間がかかるのが「帯の結び」です。事前に帯をリボンの形に縫うことで、着付けの経験が少ないCP先生もスムーズに行うことができます。また、事前に着付けの動画を女子生徒たちに試聴してもらいました。これで生徒同士が助け合いながら着付けをすることが出来ました。



帯は事前にリボンの形に縫うことで着付けがスムーズに

② グッズでバラエティー豊かに個性的な着こなし

私は、日本から「おもちゃの刀」、「狐のお面」、「アニメ（鬼滅の刃）のハッピー」のグッズを持参しました。グッズを使うことで、生徒ひとりひとりがバラエティー豊かな着こなしをアレンジすることができました。



生徒たちの個性豊かな着こなし

③ スタジオルームで本格的な写真撮影

スルタン・イスカンダール・ムダ専門高等学校には、スタジオルームがあります。今回の「浴衣・ハッピー体験」では、ビジュアルコミュニケーションデザイン(DKV)の生徒が、本格的な機材を使って撮影しました。生徒たちも、テンションがさらに上がり、みんないい笑顔をしていました。



本格的なスタジオルームで撮影



生徒同士でメイクアップ

④ 私とCP先生と撮影、最高の思い出！

私も、CP先生と浴衣を着て生徒に撮影してもらいました。思ってもいなかったことだったので、とても嬉しかったです。私の日本語パートナーズの活動を支えてくれたCP先生と一緒に撮影した写真は私の宝物です！



CP先生と浴衣を着て一緒に撮影

CP先生と話し合い、いろいろと工夫することで、授業で「浴衣・ハッピー」体験を実現することができました。生徒達の輝く笑顔を見ることができて私はとてもうれしいです！

Terima kasih semuanya (みんなありがとう！)

タイトル：日本語パートナーズの経験で得たもの。これからの私

派遣先：北スマトラ メダン

氏名：渡邊 貴子

みなさん、こんにちは、HORAS（ホラス）！

2023年8月29日～12月11日まで北スマトラ・メダン市で活動しました、渡邊貴子です。12月14日にインドネシアから帰国しました。日本語パートナーズの3ヶ月半の活動は、私にとってかけがえのない経験となりました。

今では、派遣先の先生、生徒たち、メダンで知り合った皆さんのことが、恋しくて仕方ありません。メダンは私の第二の故郷です！

① 日本語パートナーズの活動

私の派遣先は、スルタン・イスカンダール・ムダ専門高等学校とウィス・メダン高等学校です。ふたつの学校はそれぞれ特徴がありますが、共通していることは、先生や生徒たちはとても元気で好奇心旺盛です。日本文化を紹介する度に「わあ！すごい」「日本のことをもっと知りたい」と言ってくれました。私は、生徒たちが目を輝かせながら、日本文化に関心をもってくれてとても嬉しかったです。



スルタン・イスカンダール・ムダ専門高等学校「浴衣体験」



ウィス・メダン高等学校「巻き寿司作り」

② インドネシアでの生活を通して

異文化で生活することは、新しい発見や楽しいこともありました。しかし、インドネシア語でのやりとりがうまくできず、我慢してしまう、雨が多く洪水や渋滞によって交通事情も不安定など、不便さを感じることもありました。

インドネシアでは、Tidak apa apa（大丈夫だよ）という言葉をよく耳にします。相手の失敗を受け入れる寛容さを表しています。私は、失敗をする度に、この言葉に何度も救われました。異文化での生活を通して、不便さ、もどかしさ、そして環境や価値観の違いを感じました。

周りの皆さんのサポートがあり生活に慣れ、少しずつ異文化を受け入れる余裕もでき、楽しく生活を送ることができるようになりました。



心の支えになってくれた先生たち

③ 自分が日本人であることを実感

日本語パートナーズとして異文化での生活を通して、両国の文化や価値観の違いに気づき、さらに日本文化の魅力に気づくことができました。今では、日本人であることに誇りを持っています。



生徒たちが私のために作ってくれたインドネシア料理

④ これからの私

これから、日本人と外国人が共に生きる「多文化共生社会」の実現が進められます。私は、今まで、実習生や特定技能外国人のサポートに携わってきました。今後も、日本語パートナーズの経験を活かして日本とインドネシアの架け橋になりたいと思っています。



ジャカルタ国際交流基金にて